



Vol.27

総合型地域スポーツクラブ「オールラウンドすずはり」の試み スポーツや文化で交流の場づくり



取材当日に集まったスタッフの皆さん。前列右端が委員長
の西田勝昭さん。活動資金は、スポーツ振興くじ(toto)
などの助成金で賄っています



童心に返って、めんこに熱くなる大人たち。初めての人も気軽に参加して、大人も子どもも顔見知りにな...



ベタンクを初めて体験し
ワイワイと「みんなでき
いやって楽しかった」と好評でした

広島市の最北端に位置する安佐北区鈴張学区。山あいに細長く開けた土地に、約3500人、1070世帯が暮らしています。星が丘団地や譲羽団地の造成で、平成11年までは児童数が増えているものの、今ではピーク時の4分の1、1つ5人までに激減しています。

鈴張学区は3つの自治会がありますが、数年前までは、新しく団地に引

つ越してきた住民と、昔から暮らしていた住民との交流が希薄でした。こうした状況を改善しようとして、平成21年に総合型地域スポーツクラブ「オールラウンドすずはり」設立準備委員会がスタートしました。

昨年10月には、「ペタメク・めんこ大会」を実施。誰にでもできる競技を目的としています。一方、総合型地域スポーツクラブは、スポーツを通じて住民が気軽に交流し

子どもころのワザを思い出したお年寄りが、今の子どもたちに伝授するという場面もあり、楽しい一日となりました。

スポーツといえば、どの町内会組織にも協力がありません。競技力を高めるために、自分に関わり方に参加してもらい、住民同士がもっと顔見知りになってもいいです。

今後は、スポーツにこだわらず、神楽や花田植えなどの伝統芸能に取り組んだり、公園に芝生を植えたりと、活動の幅を広げたいです」とは、委員長の西田勝昭さん。やってみようと思ったことがすぐ取り組めるように、クラブ名に「オールラウンド」という言葉

を盛り込みました。平成24年には、同クラブを正式に発足する予定で、年間10以上のイベントを実施できるように、事業計画

たりの、楽しく無理なく続けられることを目指しています。県の教育委員会に事務局が置かれ、県内には設立準備中の5つのクラブを入れて、37のクラブが存在しています。